

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 7月20日

【評価実施概要】

事業所番号	4271401848
法人名	おおいし有限会社
事業所名	グループホームおおいし
所在地	〒854-0302 長崎県雲仙市愛野町乙1161-2 (電話) 0957 - 36 - 3244

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年7月14日	評価確定日	平成20年8月20日

【情報提供票より】(H20年6月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9人 常勤 7 人, 非常勤 2人, 常勤換算 9 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1階建ての	1階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	3,000 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6月20日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.7 歳	最低 78 歳	最高 95 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松本医院・特別養護老人ホーム唐比温泉秀峰荘・田畑歯科医院
---------	------------------------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームおおいしは、代表者が自身の家族の治療がきっかけで、家庭のような安心できる生活の場を提供しようと平成16年4月に開設された。代表者の馴染み深い地元でのホーム開設であった為、利用者の家族や近隣住民の方々とも早い段階で充実した付き合いがなされており、地域に溶け込み共存できている。家族のような温かい雰囲気を目指す反面、書類の多さに家庭らしさとのギャップを感じながらも、代表者、職員は、利用者と過ごす日常から学び、経験・知識の補充をして来た。外出の支援を積極的に行い、毎年恒例の家族・併設デイサービスの職員も含めての温泉旅行では親睦を深め合える馴染みの関係作りを工夫されている。また今年は胃ろうの方を受け入れ、医療行為が必要な方への、ホームでの出来る限りのケアを職員全員が努力し、その後、初めて終末を看取られた事は、ホーム全体に大きな学びと意識づけとなった。また受け入れ体制の拡大をもたらした事から、これからは需要に柔軟な対応が出来るような前進し続けるホームで在りたいとの向上心が見られた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営に関する家族等、意見の反映については、面会時の意見聴取以外に苦情箱を設置し、声掛けをして家族の反応を1ヶ月様子を見た上で、代表者と利用家族の関係を経過観察した結果、苦情箱の必要性は少なく、面会時の声掛けを継続して行っている。災害対策については、毎月の会議時に避難経路等を把握できるよう話し合いをし、ホーム独自の対策を作って実際の訓練時に取り入れることができるよう努力されている。また、重度化や終末期に向けた方針の共有について、職員全員で話し合い、家族の希望を聞き、医療機関との連携を密にとっていくことで柔軟に対応できるような体制作りをされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善計画シートを作成し、改善に向けた取り組み内容を明記し出来ることから善処されているが、今回の自己評価にあたり、職員全員の項目把握が不十分であり、自己評価を職員全体で行うことで気付きがあることと意識付けを重要視され、職員全員の項目把握と実施状況の詳細記述を期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議を開催し、意見交換・報告の場を設けているが、運営推進会議の意義の理解や人員調整が難しく、参加人数が揃わないことから中止になることもあり家族等の意見が聞けず、推進会議の開催が効果的に内容を活かす手立てにはなっていない。家族が不参加であっても普段の面会時などに意見を聴取してその内容を討議しサービスへ活かせるよう検討されることを期待したい。また独自の取り組みとして職場体験実習の受け入れに対応できるよう中学校教諭に会議参加の呼びかけを行う等、会議運営を模索中である。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>面会時や電話連絡時に報告している。また代表者が一人ひとりの状態や暮らしぶりを書いた手紙を毎月の利用料請求書と一緒に送付してお知らせをしている。家族からは直接要望を伝えてもらえることが多く詳細に聴取し、素早く対応できるよう配慮されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の方とは顔なじみの付き合いが出来ており、入居者が1人で歩いている時に住民の方から声をかけていただく等協力体制がある。またデイサービスと一緒にピザを配り、秋祭りやお雛様祭りに参加の呼びかけをしている。近所の運動公園でスポーツ行事が行われている時は散歩に出かけ見学をしたり、職場体験実習の受け入れ等も積極的に行い地域との共存を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	散歩や外出時に近隣住民と声を掛け合い、顔なじみの関係づくりを心がけ、利用者の暮らしが地域に溶け込んでいくと同時に共に協力をいただける働きかけをしながら、理念に沿って支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の内容を職員全員で検討・話し合いを行い、身に付きやすく実現可能な理念を作り上げ、日々の暮らしを「想」を込めて家庭的で楽しくをモットーに利用者の支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方に利用者の顔を覚えてもらう為に、敷地内の併設のデイサービスと一緒にピラを配り、秋祭りや雑祭りなどに参加の呼びかけをしたり、近くの運動公園で行事等があるときは見学に行き、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価に関しては改善計画シートを作成し、改善に向けた取り組み内容と実施期間などを明記し、出来ることから善処しているが、今回の自己評価を作成するにあたり、全職員の評価内容の把握や記載が明確ではない。		評価を行うことで、ホームを客観的に見ることが出来、自身が気付かない部分に気付きがあることから課題が生み出されることを、全職員が意識付けられるよう、項目把握に伴って、実施状況を詳細に記述されることを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や市、町内会長に呼びかけ運営推進会議を開催し報告・意見交換の場を設けているが、会議の意義が理解されず、参加者が揃わずに中止になった月もあり、定期的な開催に繋がっていない。また独自の取り組みとして職場体験実習の受け入れに対応できるよう中学校教諭に参加の呼びかけを行う等、会議運営を模索中である。		ホームの発展に繋げていけるよう、市町村の協力を得ながら、家族の参加が出来るように根気よい呼びかけの継続と、不参加の場合も面会時などに聴取した意見内容の検討を含めて会議が開けるよう期待したい。

グループホーム おおいし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日頃から必要時には相談を行っているが、近々ではタクシー券について相談をしたり、市の行事に参加した時は、利用者の椅子を用意していただける等顔馴染みの関係が確立している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話連絡時にお伝えしたり、毎月の請求書と一緒に、代表者が利用者個々の状態や暮らしぶりを書いた手紙を送付し丁寧な報告がなされている。また家族参加の一泊旅行時に会話をしながら写真を見ていただいている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の家族と代表者が顔なじみや知り合いが多いことから、直接相談をされたり意見・要望を言われたりすることが多い。風通しのよい聴取体制で、普段から家族に積極的な声掛けを行い聴取意見に柔軟に素早く対応出来るように配慮している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内での適材部署への異動はあるが、併設デイサービスとの行き来があり、顔なじみの関係も出来ている。また開設当初からの職員が多い為、新職員の採用により、利用者にとっても他の職員にとっても新鮮で良い意味で刺激を受けていると実感されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正しい知識と実践を習得できるように事業所負担で通信教育を受けられ、介護士・ケアマネージャー等の資格取得や研修の情報が入ってきやすい体制であり職員のスキルアップに積極的な対応がなされている。また、服薬に関する誤薬のないよう、変化があったら必ず周知を徹底し状況に応じた学習を心がけている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームをより良くする為、近隣のホームには殆ど訪問をし、他ホームの十分な見学・意見交換を行って、良い面を吸収し当ホームに取り入れている。またケア研究会に参加し、孤立することなく交流に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	見学は満床であっても随時受け付けており、入居前のサマリーや情報提供表を参考にして、本人の状態を見ながら、徐々に慣れるよう対応されている。また併設のデイサービスを利用し週2回のリハビリをホームで取り入れて、本人が馴染みやすいように配慮されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	花道の先生には生け花・習字の趣味の人には作品展への出品(作品はホームに掲示)等暮らしの中に利用者の得意分野を活かし、共に暮らす同士として知恵や教を学び、支えあいながら生活している。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一日に3回のバイタルチェックや朝の申し送り等、常に気配り・声掛けを行い、本人の要望や意見などを把握し、本人がベストの状態過ごせるよう配慮されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	基本情報・家族や入居者の希望を踏まえ、職員が全員参加した担当者会議を開催し、意見や気付きを出し合って利用者本位に介護計画を作成し、家族の了解を得て、共有を図り日々のケアに反映している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	入居者では殆ど変化が見られない場合があるが、アセスメントシートを目標達成時に記述し、現状をデータと気付きで把握し、日々の状態の変化や医師の診断により、定期的または必要があるときには随時見直しを行い、その時のニーズを盛り込んだプランを作成しなおしている。		

グループホーム おおいし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外食・一泊旅行の楽しみを取り入れながら、リハビリや通院などの支援の他に併設のデイサービスの機器や備品等自由に使用でき、個々の状況や希望に即した支援ができるよう柔軟な対応に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の入居者のかかりつけ医療機関を把握し協力をお願いされている。遠方から入居されている方には説明を行い、同意を頂いた上で、連携医療機関に協力をお願いされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の看取りに対するホームの方針と体制を家族に説明し、同意を得ている。また最近胃ろうの方を受け入れ、看取りを行ったことで職員の終末期に対する意識が強化され共有が図られるよう共に学習を重ねている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	失禁時にはさりげない声掛け、誘導後、他の入居者に汚物も見られないよう各居室のゴミ箱に新聞紙の袋を備え配慮されている。開設5年目になり、職員と入居者が顔なじみになりすぎて、職員の言葉掛けにはやや馴れ合い的な面があり、重要な過渡期といえる。		年長者への尊敬と礼儀を職員全体で話し合い、親しみを込めた対応にも馴れすぎることがないように接遇マナーを今一度考え直されることを期待したい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行きつけの美容院や買物に連れて行く、欲しいものを伝えてもらう等、出来るだけの希望を取り入れてそれぞれの入居者思い思いの生活を送れるよう配慮している。		

グループホーム おおいし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介助が必要な入居者はおられず、ご自分のペースで食事を楽しまれていた。入居者の希望で献立が変わることや、畑で取れた作物が食卓にあがることもあり、好きなものや新鮮な旬の食べ物を楽しむことが出来る。また、テーブル拭きやお盆・箸並べなどが出来る入居者がお手伝いをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の状態を見て、週に3回の入浴を支援しており拒否者は殆どいない。日替わりで交代の為、毎日入浴の準備があり希望者には対応できるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	習字・モップがけ・花の水やり・カレンダーめくりの他、折り紙や卵パック、ペットボトルの蓋で毎年町の文化祭に出展する作品づくり等、日々楽しみながら個々の趣味や活躍の場面づくりや、みんなで作り上げる達成感を感じられるような支援を実施している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な買物や散歩などから大きなイベントでは毎年恒例の職員・入居者・家族・デイ職員合同の温泉旅行に出かけるなど1年を通して積極的な外出支援がなされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在外出傾向の入居者はなく、日頃から外出は出来るだけ入居者の意思を尊重している。また地域の人に「おおいし」の入居者である事への理解に尽力する事で、日中は施錠を行っていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間設定で避難訓練を行い、避難の際に居室前に付けている折り紙の鶴をとることで避難確認をする等、ホーム独自の内容で消防の意見を聞きながら実施されているが、地震・風水害等の天災に関する対策や食料の備蓄が明確にされていない。		避難訓練や消火・通報訓練に加え、地震時や台風時などのような対応をするのか明確にし、長期停電時や、断水等の非常時の為に保存食料品・飲料水の備蓄品も用意して置かれることを期待したい。

グループホーム おおいし

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の管理による献立で、栄養のバランスに配慮されている。また食事・水分摂取量・薬はチェック表で一人ひとり管理し状態を把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	エアコンは気温が特別高い日に入れ、普段は窓からの自然光と自然な温度で明るすぎず、冷しすぎず過ごすことができる。壁面には綺麗に製作されたホームの理念である「想」の文字を折り紙で型どった作品や入居者の習字等が飾られ、目に優しい観葉植物が置かれ、親しみある空間で快適に過ごすことができるよう配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好きなお花の鉢植え・趣味の道具・家族の写真・机など、ご自分が選んで持ち込まれたものや安心できるもの・好きなもので充実した部屋作りがなされており居心地のよい居室で思い思いの時間を過ごされていた。		